京城日報

二十一日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

○ト外相獨を非難す 故意に誤報を傳ふ

トロッキー氏は布告を發し「獨逸側代表委員は獨逸の一般公衆を欺瞞せんが爲めブレスト、リトウスクに於ける講和會議の經過に關し故意に誤報を傳へつゝあり」とて非難せり中歐同盟國側は露國の提議を拒絕し十五日附を以て戰爭中非占領地帶の撤兵を拒絕する旨を打電し同時に人民の選擧せる團體を通じて人民投票を行ふ事は獨逸の一般提案の實施は不可能なりと回答せり（倫敦電報）

○露洪國講和締結

露國過激派政府と墺洪國とは一月十三日講和條約を締結せり（倫敦電報）

○露羅關係破裂か

露國過激派政府と羅馬尼との關係は極めて緊張し來り將に破裂せんとするの虞あり（倫敦電報）

○墺國內暴動起る 獨對露態度に對する國民の不滿

墺國內にては各所に暴動起り次第に重大ならんとする形勢あり講和の遲延獨逸の對露態度に對する國民の不滿も其の一原因なる可し（倫敦電報）

○伊太利俘虜北上

露西亞より釋放されたる伊太利俘虜四名は二十日夜長春より來奉直ちに北京に向へり（奉天特電）

○馮總統妥協魂膽

馮總統は一面曹錕氏等に出動を慫慂しつゝ他面南方との妥協に便ずる爲め張懷芝氏に大金を持たせ湖北に派し北軍を買收せしめ居れり（北京特電）

○李純留任に決す

江蘇督軍李純氏は馮總統外六督軍の慰撫により辭職を思止まり留任に決したり（北京電報）

○支那の防疫借款

支那政府はペスト防疫費に充つる爲め十八日四國銀行團より百萬兩を借款せり利子年九分擔保は鹽稅剩餘金なり（北京電報）

○滙銀創立委員會 二月一日より開業

十九日滙業銀行創立委員會を開き役員就任の件を議定し二月一日より開業する事に決したり（北京特電）

○北島博士動靜

支那山西省に於けるペスト視察の爲め來れる中央衞生會委員北島博士並に氏原衞生局技師は二十日夜安奉線にて來奉大和ホテルに入れるが二十一日は關東都督府警務課衞生課長松田昇晴氏並に中山源次郎氏と會見再び奉天南滿醫學堂にて豐田教授等と共に種々防疫上の打合せを爲せり因に博士の一行は都督府技師中山氏同伴にて廿二日朝發京奉線にて北京へ向ふ可し（奉天特電）

□東京より 在京一記者

東部西比利獨立論

○露獨單獨講和の交涉談判果して破裂したるや否や未だ知る可からずと雖も其の破裂したるや否やを問はず獨逸の勢力が露國の咽喉を扼しつゝあるは明白なる事實にして露國の戰鬪的能力を回復する能はざるも亦論を俟たざる也。○假りに露國にして獨逸の講和條件を拒絕したるを事實なりとするも露國の運命既に獨逸の掌裡に在る以上は講和の成否如何に關せず獨逸的勢力が露國の內部に浸潤しつゝある今日漸次露國を獨逸化するは必至の勢なりと謂はざる可からず。此時に當り我が帝國の患とする所は露國に非ずして寧ろ獨逸の勢力東漸に在り。而して之を防ぎ獨逸の勢力東漸を防がんと欲せば西比利を以て獨立せしむるより善きは無し。○西比利の地勢はオムスクを境界として其東部と西部とに分れ西部に於ては一時トムスク獨立の報ありしと雖も其の後の情報に據れば漸次獨兵[illegible]の壓する所と爲り獨立政府を實現するに至らず却て過激派政府の勢力下に在るを得べし。但し東部西比利に至りては其の地方官憲相率ゐて協力一致し過激派の勢力を排逼しつゝあり。現にブラゴヴエシチェンスクに於ては露國最高行政府を組織し過激派政府より獨立して政治を行はむとするの狀勢を現出するもの最も注目すべき現象の一なりとせざる可らず。○此際我が帝國が東部の平和を維持するに於ては速かに聯合國と共に默契を取り西比利獨立の形勢を利用し之をして其の獨立を全うせしむれば吾人は露國過激派の勢力と獨逸の勢力東漸とを防止する唯一の最善手段として已む可からず[illegible]帝國が東部西比利の平和の爲に最善の手段を講ずることを國民の要望なるを信ず

何の主權侵害ぞ 浦鹽市會の抗議

既報の如く帝國特務艦入港に就き浦鹽市會は十四日臨時市會を開き「何等の豫告及び同意なくして日本軍艦の入港せるは露國の主權を侵害するものにして日露の親善を害するものなり」との意味を以て我總領事に抗議を申込める旨其筋に電告ありたり國際慣例に從へば一國の軍艦が外國の港灣に入港する場合には豫め通知を發して其國政府の同意を經るが常なれども露國の現狀は主權の存在果して何れに在るやを確知し難く若し過激派政府に對して之が通告を發するが如きことあらんか列國の未だ承認せざる過激派政府を獨り我國に於て認むるの結果に陷る可し依て我特務艦司令官は我總領事を通じて同時に在浦鹽露國地方官憲に入港の件を通告し其の外何等の目的なき旨を披瀝し…國際慣例に從ひて同意を求むるの方法なきのみならず[illegible]入港に先だち[illegible]號の入港も[illegible]するに對しては浦鹽市會は何等の抗議を提起せざるに獨り我國に於ては[illegible]浦鹽市會の抗議に對して[illegible]顧に非ざる可しと解せらる（東京）

◉寒中天機奉伺

長谷川總督及び山縣政務總監は二十一日午前十時宮內大臣を經て天皇皇后兩陛下に寒中の天機並に御機嫌奉伺を爲し東宮大夫を經て皇太子殿下に、傅育官を經て各皇子殿下の御機嫌奉伺の爲め同十時十七分夫々電報を發す

◉四殿下天機奉伺

李王、李太王、李王世子三殿下は二十一日午前十時閔李王職長官を總督府に遣はされ兩陛下の天機並に御機嫌奉伺、皇太子殿下の御機嫌奉伺、又李堈公殿下は御自身總督を訪問同樣申出でられたり

◉總督邸午餐會

長谷川總督は二十一日午後零時三十分より總督官邸に於て李王、李王世子兩殿下の御臨席を請ひ午餐會を催せしが山縣政務總監以下各官並に松川軍司令官立花師團長市川參謀長及び朝鮮貴族等列席せり

◉王世子御動靜（二十一日）

李王世子殿下は二十二日正午咸寧殿へ伺候例の如く李王殿下に御挨拶の上零時五分御發龍山軍司令官邸に赴かれ松川軍司令官主催の午

◉米國禁輸に就て 米國總領事館の布告

北米合衆國輸入貨物禁止に關し京城在同國總領事代理は今回本國政府の通牒に接し本件に關する布告を發したり[illegible]

[illegible]戰時通商局の指揮に依り米國政府の趣旨は[illegible]業者に依り米國政府の趣意を以て海外商品を米國へ[illegible]要するに[illegible]

◉穀類運賃引下均霑 廿一日より木浦群山仁川も低減

朝鮮郵船大阪商船尼ヶ崎汽船の三社協定の上二十一日より釜山阪神間の穀類運賃を百石に付二十圓引下げしは既報の如くなるが木浦群山仁川の各港に付ては未だ引下げ方を發表せず[illegible]兩方面と阪神間に航路を有せざるを以て除くは二十一日より仁川群山木浦三港より阪神行の穀類運賃は百石百八十圓なりしを二十圓引下げ百石百六十圓に改定實施したり

▲各港運賃の調節を試み[illegible]

▲北鮮も引下

北鮮各港たる城津淸津元山と阪神間の穀類運賃は從來大阪商船朝鮮郵船の汽船は何れも百石二十圓方の上値にありしも十八日より大阪商船と同時に阪神間の運賃を引下げたり方は

元山より 穀類百石 一六〇圓
城津より 同 一七六
淸津より 同 一九五

▲運賃調節成功

今回各汽船會社が朝鮮各主要港と阪神間の運賃を百石に付二十圓方引下げし原因は諸種の理由存すべきが其の主因は總督府遞信局が客年十二月以來朝鮮郵船會社の內鮮命令航路運賃を比較的低位に決定し高きに過ぐべしとの評ある阪神對朝鮮

◉遞信分掌改正

遞信局事務分掌規程中[illegible]二十一日より電氣課及[illegible]

◉運賃低減

[illegible]運賃は備船料の上騰に伴ひ運行して其の引下を見たるは乃ち人爲的のものと見る外なし[illegible]朝鮮產業界發展のため運賃引下を企圖しつゝある當局政策の具體化[illegible]

◉炭價調節陳情

既報の如く過日來京城商業會議所に於て調査研究中なりし炭價調節に關し去る十八日最後の評議員會を開きたるに何れも商業部委員の報告を至當と認め原案の通り總督府に陳情書を提出せり

◉手形交換所指定令

[illegible]朝鮮總督府令第十七號を以て手形交換所の指定を[illegible]

◉軍司令官催宴

松川軍司令官は二十二日午後零時より官邸に於て李王世子殿下並に李堈公殿下を招待し山縣政務總監[illegible]

耐寒の設備は民族發展に必要（五） 立花將軍談

今後の活動は北方

日本人が冬期酷寒の地方に在つて活動を試みんとするには適應せる服裝を

▽整備する事

が必要である總て冬を恐れ寒威に慴れると云ふ樣な習慣を打破し冬季に於ける活動の必要を感ずると同時に寒中に於ても家屋の暖房設備を改良し其の時機なりと云ふ事を徹底的に腦裡に刻む必要がある。人間の習慣と云ふものは實に偉大なるもので今回の歐洲戰爭に於ける守備兵の冬期に於ける活動の如き[illegible]

▽手近かな所

に發展の餘地はあるまい此所に於て乎、耐寒の思想と設備とは必要なものであらう。耐寒の設備なくしては北方に活動することも困難と成つて來る譯である。然るに現今の狀況を觀察すると此の點に關しては頗る不準備の有樣である。即ち今後北方に向つて大いに

▽雄飛を試み

んとするには何うしても耐寒の設備が肝要である（完）

▽彼の地方に

關地方に於ける守備兵の[illegible]奮鬪してゐる官吏、教育家、宗教家、實業家

◉俊才の教育に資したし 熊本利平氏談

[illegible]

▲群山の小學校

[illegible]

▲少年を教育

[illegible]

◉大和書記官入京

使節書記官大和久儀郎氏は二十一日朝入京浦尾旅館へ投宿せり

◉酒匂領事入京

鐵嶺領事酒匂秀一氏は二十一日朝入京朝鮮ホテルに投せり

◉久芳課長東上

總督府內務部拓殖局に關し人事、宮內省事務打合の爲め十九日出發東上すべし

◉關野囑託渡歐

古蹟調査委員にして總督府囑託たる關野貞氏は今回歐洲出張を命ぜられたるが十九日附を以て古蹟調査事務打合せの爲め渡歐の途中下關より京城へ出張を命ぜられたり

◉鮮銀總裁一行

美濃部鮮銀總裁は愈々二十二日午

□大阪財界通信

▲綿絲相場大勢

綿絲相場の大勢は棉商を主として昂騰の傾向を持續し昨今三百五六十圓臺に騰しつゝあるが之を綿絲實勢の方面より見れば輸出向は支那を主として相場不均衡の爲め新取引中絕の狀となり又內地向は綿織物側の原料高に一般買控の狀を呈し內外共に實取引に少からざる影響を及しつゝある爲め棉商の割合に人氣は沸騰を見るに至らず依然仕手關係の思惑相場に傾き來れるが一方金融關係は昨年十月以後暴落の反動期より引返しの昂騰期に向ひつゝある爲め昨今は殆んど襲來を

◉人事消息

▲伊地知幸治氏（鎭海灣要港部參謀）二十一日朝入京朝鮮ホテルへ
▲澁谷義之助氏（帝國製糖重役）同上浦尾旅館へ
▲堀井一二氏（帝國製糖重役）同上
▲松井房次郎氏（元山稅關長）二十一日夜入京浦尾旅館へ投宿の筈
▲石原海軍軍醫少監 二十日馬山へ
▲角屋光風氏（朝鮮新聞記者）左腕に負傷し總督府醫院に入院
▲小田省吾氏（總督府編輯課長）編纂事務打合せの爲め十九日附を以て仁川へ出張を命ぜらる
▲白井米城氏（醫學士）二十一日入京

木浦

▲木浦商議總會 木浦商業會議所にては十九日午後[illegible]評議員總會を開き會計年度[illegible]件並に之に伴ふ定款改正の件及追加豫算を附議す[illegible]

▲鈴木氏の[illegible]

◉鮮銀內地店長歸任

京中なりし鮮銀東京支店長佐藤德四郎大阪支店長掛井生治神戶出張所長宮崎磬平の三氏は二十一日午前八時四十分南大門驛發列車にて歸任せり

◉久保局長歸期

京義出張中の京城管理局長久保要藏氏は豫定の如く二十二日夜南大門驛着歸任の筈

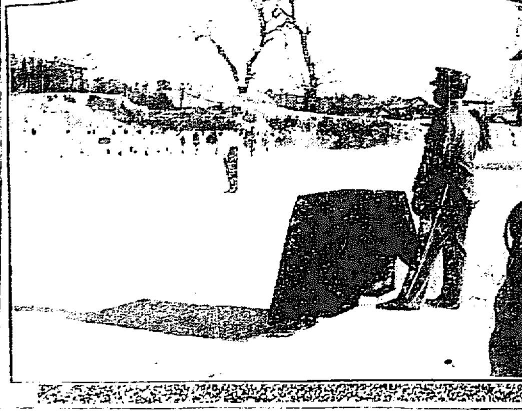
◉鮮銀內地店長歸任

[illegible]後九時四十分南大門驛發列車にて滿洲に向ふ事となり月末歸任の豫定なるが同行者は大田滿洲總支配人阿部副總支配人倉知秘書役の諸氏なり

▲船舶業發展

[illegible]

李王世子殿下　總督官邸に於ける王世子招待午餐會に臨まる（上）



王世子殿下　高等普通學校に於て聯合體操御覽（下）

日本語で御前講話
△王世子殿下各學校御視察
お目を惹いた聯合體操

李王世子殿下は二十一日午前十時石造殿御發例により咸寧殿に伺候せられ文王世子殿下に御挨拶の上大漢門御發、閔屋學務局長の御案内にて

◇公立各學校を視察せられたし當日の列次は自動車にて午前十時十分京城高等普通學校へ御著あり閔屋學務局長及び生徒の國語讀本の[illegible]を御聽になり[illegible]日本語を以て講話[illegible]

◇宅も朝鮮の出で[illegible]には陪觀者一同感激したり[illegible]同校記念館に御觀覽の上御發十一時頃京城普通學校に著せられ此處にても閔屋局長及渡邊春藏氏の御案内に

て國語地理朝鮮文教授及全生徒の[illegible]

◇聯合體操を御覽ありし[illegible]活潑なる動作は殊に殿下のお目を惹きしもの、如く[illegible]一時二十分御發慶熙宮の京城女子高等普通學校に向はれたり

▼造花　成績品と共に　京城女子高等普通學校にては[illegible]教諭の御案内にて[illegible]品及び技藝品[illegible]十一時に[illegible]御臨席の[illegible]同校にては生徒の製作に係る造花一[illegible]を獻上したり

捕はれた佛國前首相（三）
獨逸の佛國攪亂計畫
ボローパシャとは何人

カイヨー氏が叛逆罪として引致せられたるは曾て國事件に坐せし爲め勳章の[illegible]者、外國十字勳章其他に外國勳章の帶勳者にして自動車飛行機[illegible]たるが捕はれる本事件は既記の如く昨年十月初旬アクション・フランセーズの所有者なりしと云ふに過ず然も新聞主筆ドーデー氏が大統領ポアンカレー氏に宛て内相マルヴィー氏を彈劾せるに始まれるもの[illegible]彼の生活中の第一期は女理髮師、破落漢、詐僞師、齒科醫者、海綿商人[illegible]

▽賭場を開帳して　追立てられたる賭商人在位中の埃及王の親友殊に同國前王の生活にては土耳古を放逐せられて歸國しボローは第二期は開戰後に際し其結婚し第三期は瑞典及び米國の旅行に費やされ第四期は忽ち獄中生活た[illegible]大部分は其精神的活動期に現はる[illegible]如き恐るべき活動を略記すべし

▽巨額の金を積立て居り第一はボロー資金と稱しボローパシャの手にて新聞買收費に充て第二はビューロー資金と稱し專ら外交方面の活動費に充て第三はホーヘンローエ資金と稱して瑞西にあるホーヘンローエ公の手に依つて佛國内に叛逆罪を助成するの資に當て居れるが右の内最も活躍をなし[illegible]割りもはボローにして彼は五百萬法を投じジユルナール紙株券の大部分を買入れ同紙を通じ佛國に講和熱を高めんとせりカイヨー氏は

▽親獨排英の精神より佛國をして戰爭より脱退せしめんとし獨逸の手先きとなりて働きつゝありしボロー等と種々の畫策をなせしもの、如しされば今ボローの暗中飛躍振りを記せば自然にカイヨー氏等の行ひたる謀叛的行爲を知るに容易なるべし抑もボローパシャとは何人ぞワント、パリー新聞は

▽彼ボローの地位　閲歴を叙して曰く「彼はリージョン、ドノール勳章佩用者にしてアカデミー會員、農業功

晴の榮譽
を荷つた　四預選者

御歌會始めに於て預選の光榮を荷へる七氏の中中村孝也、上野勝雄、吉田三郎三氏の閲歴は既報の如くなるが更に他の四氏に關するもの左の如し

▲錚々たる新派歌人　青木アキ子女史

預選歌に當選せる青木アキ子女史を名古屋市下長者町に訪ふ女史は青木鍋氏の夫人にて大正元年新婚當時夫鍋氏と同伴旅行の際海岸にて見たる景象を御題に因て詠みたるものにて今回此光榮に浴したるものなり女史は極めてハキ／＼したる人にして子供なく學歴は幼年の際當原小學に通ひたる丈病氣の爲め中途退學し十五年頃和歌の門に入り歌道に熱心なる新派歌人の錚々たるもの

▲招魂社の社掌　田島莊三郎氏

岐阜縣大野郡大名田村字花里の田島莊三郎氏は招魂社々掌にして傍ら春園と稱し本年六十歳[illegible]郵便局長を勤めたることあり

▲小學校は優等で　遠藤二郎氏

御歌會に入選せる遠藤二郎氏は明治十年福島縣安達郡杉田村字南杉田四十三番地に生れ同地方の舊家にして小學校以來常に優等席を占め中學校は中途退學し後隣家の叔父に當る元縣會議員遠藤久五郎氏の養子と成り實業に從事し居るが青年時代より和歌を好み從來各地の懸賞募集に當選せる事數かず

▲元中學校の教諭　矢野鎌倉宮々司

矢野鎌倉宮々司矢野諸氏は明治卅七年伊勢神宮皇學館を卒業し新潟中學校の教諭に任じ後内務屬となり次いで千葉縣國幣中社玉前神社の宮司大正四年三月廿日鎌倉神社に宮司となる年三十六歳

別段六ケしい事では無い
三月一日より實施の肺結核豫防法に就て
京畿道警務部長談

朝鮮の冬季は[illegible]傳染の危險が甚しい

前に二回に亙り今回發布の府令の要項及び肺結核の恐るべきこと及び其傳染經路の大要を述べたが朝鮮に於て最も切實に豫防の必要を感ずると共に其豫防に困難と思はるのは由來朝鮮人は何處でも所構はず唾痰を吐き散らし恬として顧みぬ陋習がある又

◆朝鮮は降雨少なく空氣乾燥の度強く[illegible]

はお互に[illegible]空氣の[illegible]不良であるから一層傳染の危險が[illegible]肺結核の豫防は府令の規定のみを以て能事終れりとするのではない[illegible]

◆法令を以ては差向きこれ以上仕方がないから（歐米諸國には稍進んだ規則がある様なれども）根本的の豫防方法に至りては公衆の自衞心に待たねばならぬ[illegible]外國には[illegible]規模の結核豫防協會が出來て居るが[illegible]一致豫防撲滅に全力を盡し爲めに近來肺結核の死亡者を減じたとの事である内地にても肺結核豫防協會が出來て結核豫防に關する研究を爲し

◆種々積極的豫防方法を講じ時々講話會や展覽會を催ほし或は統計圖表模型等の供覽を催ほし又結核豫防に關する衞生劇を仕組み公衆に觀覽せしめ結核の恐るべき事及び豫防の必要なる事等を鼓吹奬勵して居る又外國にては結核患者を診斷し之を收容する爲め公立私立の肺結核患者保護所及び療養所が多數に設けら

◆八百三十萬以上の市に肺結核療養所[illegible]

白山麓の大雪崩

石川縣石川郡河内村字白山の麓に位する戸數十戸の村落雪崩[illegible]に達したるが十九日夜雪崩の爲め七戸埋沒し二十餘名の者は生死不明なり（大阪特電）

紀州の山火事

紀州牟婁郡[illegible]山林より[illegible]日夜發火し[illegible]に鎭火せざる[illegible]既に三里餘燒失せり（特電）

朝鮮荒しの賊

龍山分隊の手に逮捕[illegible]長崎市[illegible]生れ伊藤[illegible]は龍山[illegible]番地[illegible]

女詐欺師

[illegible]

栃木山横綱問題
司家は許可の意嚮

[illegible]

水道の故障續出

[illegible]

不正漁夫爆死

[illegible]

炭燒殺は死刑

[illegible]

大寒

[illegible]

特製　大島紬
△琉球紬　△琉球絣　△薩摩絣
國產部
明治屋呉服店

京城美術研究會

[illegible]

◇矢野大尉殿父の訃　[illegible]

讀者文藝　課題及募集規定
□募集規程　△用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事

商況

東京期米持合　兵庫期米　仙台正米持合　大阪三品持合　大阪期米持合　下關期米

鐵材漸く落付く　製粉處分問題　依然懸念の種　新高値　更に昂騰

紐育[illegible]

外米活氣付く　白米持合ひ　三品更に高し　綿布強調　白木綿騰貴

仁川期米　仁川正米　南大門週報　生魚市場　京城正米　下關相場　市場雜觀

人氣は[illegible]

外貨入の態度に屈
大差なき海陸運賃
下押は容易に
内地製粉昂騰

[illegible]

大阪期米

植民地の新法律

異人種との結婚が出來る

政府では帝國各法の及ぶ地域にして法域を異にする新領土新租借地に對し法律の適用を圓滑にする目的を以て共通法を制定せんと本議會の劈頭に之を提出する筈である其内容は帝國領土權の及ぶ所が廣くなり租借地も出來、從つて法域を異にする種々の法律が行はれて居る、憲法は新領土新租借地に對して効力を及ぼすは勿論だが人情風俗を異にする土地には内地と同一の法律を其儘施行することは出來ないので臺灣樺太滿洲等には律令、制令等の委任命令に依つて

△内地の法律を應用する ことゝなつて居る、然しそれには少からざる除外例がある大體に於て法域の異る結果私法、刑法の適用に多大の不便がある、今最も卑近な例を取ると臺灣には三百三十萬人の支那民族が居て同じく帝國臣民たるの權利義務を有して居るが彼等臺灣人間の結婚に別段問題はないが臺灣人と内地人との結婚となると甚だ面倒になる、それも臺灣人の女が日本人の所に嫁入する[illegible]

△臺灣人に嫁 [illegible]

△日本臣民は 却て此權利[illegible]

[illegible]

二十一日の三方限

連絡船上陸客

[illegible]

重要物産と金建

反對も一段落

大連重要物産取引所建値を金建に改正せらるべしとの豫想の下に客冬大連商業會議所は逸早く之が豫防策として大いに金建の不可なる[illegible]極力金建に反對し東上中の[illegible]銀建維持の策を講ぜらし[illegible]中村都督、宮尾民政長官、前民政長官たりし白仁拓殖局長官等に反對意見を開陳すべく上申なりし相生會頭に打電し[illegible]運動の結果都督及び拓殖局長官も滿洲の事情よりして重要物産取引を直ちに金建に改むる事の不可なる事を諒とせるを以て俄かに金建に改むるが如き事は無かるべしと相生會頭より電報ありたると同時に大内大連民政署長よりも當分金建に改むるが如き事無き故安堵すべき旨の通牒ありて一段落を告げたるが其後十一月下旬東上中の中村都督歸任の際イキ立たる金建反對も鬼に角一事に[illegible]大連に於て非公式ながら銀建の運命も前途長からざるべき趣きを言明したりしより一時平靜に歸した金建反對論者は更に多少の動搖を爲したりしが最近に至り都督府は取引所の建値を金建に改むるの可否に付き商業會議所及び重要物産取引所に宛て其の意見を徵したるに會議所は勿論意見を徵せらるゝ迄もなく金建の不可なる論鋒は鈍りたるが如くなるも勿論金建を回答し取引所に於ても多少議論は不可なる理由を開陳したるが同問題も近く必然の歸着點に落着するに至るべしと大連業有力者は[illegible]

藻草施肥計畫

大同江流域中平安南道大同郡灑巖流域より萬景臺附近に至る江中に茂生する藻草は從來何等應用に供することなき結果年々倍々繁茂し[illegible]江流の美觀風致を阻害するのみならず舟揖の便を妨害するが故に江中掃除の必要ありとし本年より流域中に發生する藻草を採取し肥料に使用せんとの一法として施肥用に使用すべく去る十五日松井民治郎氏が許可を得て[illegible]出願せり

平遂輕便鐵道

平壤鑛山業松井民次郎氏外數氏の發起に係る平壤遂安間輕便鐵道に就ての計畫は前年來の懸案たりしも目下處々方面との交渉[illegible]

製粉敷地決定

[illegible]

沈没船引揚

[illegible]

安州炭と市價

[illegible]

忠南の燃料

[illegible]

不愉快なる寢臺車の一夜

＝不愛想な旅客と同室して釜山迄＝

吉田生（投）

私は去る十六日の晩商用で京城から釜山に行つたが、南大門驛から年齡三十七八才の青年紳士と同室した、私は[illegible]を願ひます」と然るべく挨拶した、しかも相手は『アヽ』と言つたきり甚だ尊大振つて居る。

それでも日本の俚諺にも袖摺り合ふも多少の縁と云ふことがあるまして同じ寢室に落ち合ふのだから何かの縁もあるのであらうから同室者として相當の禮儀を以て相互の敬意を表するのは當然である、私は更に『何處迄お越になりますか』『大變お寒い事ですね』『日本内地も大變寒い樣ですね』と充分の敬意を拂ひつゝ話しかけたが先生濟ましたもので唯『ハア』『アヽ』といふのみで碌々返答もしない、私はムッ〳〵として血が頭に上つて來た、然し禮讓を重んじ、相當の敬意を表したが故に相當の敬意を表したが此の上のやうな態度に出られて見ると此の上敬意を拂ふ必要はない、今まで拂へば充分だ。今まで殊更禮讓して居たのが馬鹿らしいやうにも思はれて其れなり顏を反けてそれして本を出して讀み始めた處へてボーイが來てベットを拵へて呉れた、先方も僕も無言の裡に眠に就いた。私はこの時にも『お寢みなさい』位の挨拶をされるのを望んで居つたが全く駄目であつた翌朝汽車が釜山に着いてボーイに起されたが先生もノコ〳〵起きて來た。双方依然無言である。私は『お早やう』位の挨拶はしたかつたが前夜に懲り〳〵したから默つて居た。その内に赤帽が來て各自の荷物を運ばしたが先生ましたもので一言の挨拶もなくズン〳〵と連絡船の方に行つて了つた。

事實は只其れ丈けだが私は日本人の不愛想にはツク〳〵愁いた。私は年中絶間なく旅行をして各國の人種とも接し各階級の人士と接觸して居るが[illegible]少しく地位身分のある人が旅行すると馬鹿に尊大振る風がある。之を旅慣れた愛想のよい隔意のない外國人に比べると雲泥の差である。殊に官吏と來ると[illegible]

私は日本の旅客が今少しく平民的に世界的にまた地位職業の差別を論ぜず各階級の人々に接觸して隔意なく意見を交換したなら旅行中の徒然を慰むると共に將來何か利益する事があるであらうと思ふのである。

私は今前記の不愉快なる同胞旅客と同乘して不愉快の餘り歸來筆を走らして本文を貴紙に投ずる次第である。

鮮人學校主と爲つた内地人

朝鮮教育界美談

大阪市東區平野町一丁目の藥種商[illegible]

平壤蔬菜作付

[illegible]

平南巨木再調

[illegible]

鐵以製造概況

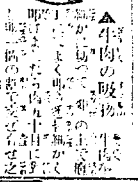
[illegible]

大連より

[illegible]

△素謠 [illegible]

△仕舞 [illegible]



△牛肉の吸物 [illegible]

△廣告▽

一、大割石買入

[illegible]

澤井組

川合時計店

新債券　割引

每月一千圓千圓

くじ樂組合債券

債券月報社

福岡支店

日本化粧品株式會社特約

色白藥

毛生藥

駿河台袋町東京美容院

東京牛込牧場

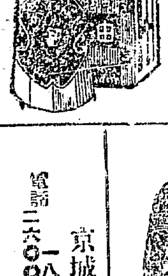
ニッソ

牛乳

胃消化錠

マーゲン

特約店　京城南大門通二　新井藥房

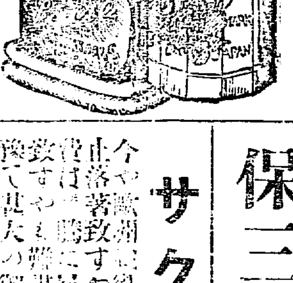


パール椿油

パール髪油

パール煉香油

パール固煉香油



保三郎

父より

サクラビール

サクラビール發賣元

鈴木商店京城支店

麥酒部

賣藥部

K

北島藥店

北島藥店京城支店

藥種賣藥卸商

鑛山用麻袋

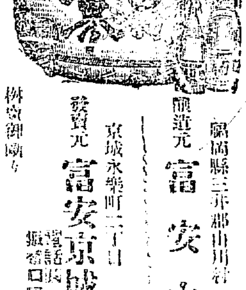
石川商店出張所

人事興信社營業務案内

各色印刷インキ製造販賣

芹川商店

優等清酒



富安本店

富安京城支店

京城永樂町二丁目

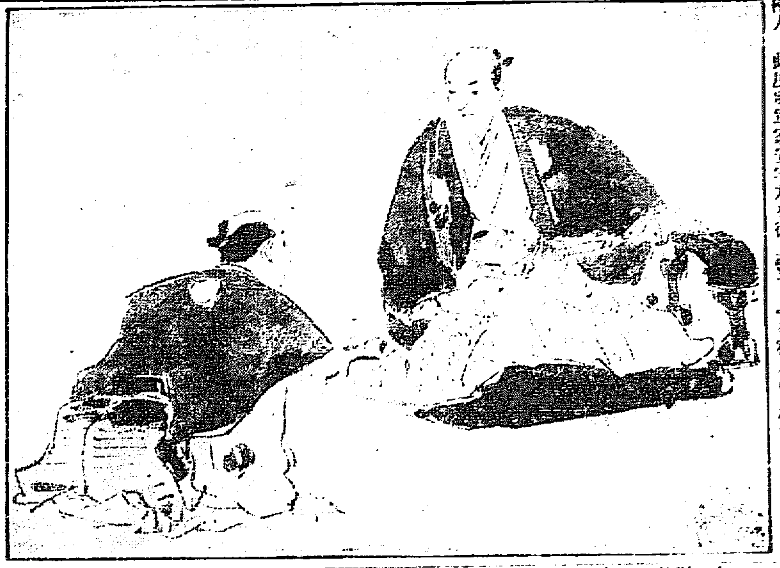
酒井婦人病院

院長　酒井一郎

左甚五郎

第百四十五席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記



延寶八年三月四代將軍家綱公薨去で、御き及んだる安宅丸を見たいと仰せられて酒井雅樂頭へ御沙汰になりました、忠清は挫つて安宅丸の下檢分をいたしたが、流石雅樂頭も是ほどとは思はなかつたが金銀の光り輝き其の結好なのに驚きまして歸邸いたし早速呼出したのは勘定頭の赤岩佐渡守、一色内藏助の兩人でございます、大手前の雅樂頭の屋敷へ罷出ました忠清は兩人を召して家來を遠ざけ 雅『兩人、此度將軍家安宅丸を御上覽仰せ出されたが、拙者は下檢分をいたした處實に廣大なるものであ 一『仰せの通り金にあかして造へました安宅丸美事なものでございます 雅『其方達兩人は我が同意の者にして決して他言はいたすまい、彼の安宅丸を破却いたす時は數萬の黃金が手に入ると思ふが何うじや 一『仰せまでもなく金銀を以て埋ました船故仰せの如くでございませう 雅『左然、破却をする手段が無い 赤『茲に宜い事がございます 雅『ウム』 赤『下總國行德生れの漁夫でございまして其の名を河童の吉藏と申します此の者は泳ぎの惡い奴で、喧嘩口論をいたし二人の人命を殺めました故早速召捕つ獄舍へ繫ぎ置きましたが人を殺した者故斬首に行ふもの、それを助けて手前屋敷に匿きました 雅『何で屋敷へ匿きしぞ 赤『水練に妙を得て河童と云ふ位何かの役に立やうかと存じまして仲間として手前屋敷に遣かつて居ります、此者へ申し付けまして安宅丸を破却いたさせませう 雅『然て何ういふことにするのである 赤『他郎を僱ますゝ故御免を蒙ります』と赤岩佐渡守がツヽと進つて雅樂頭の耳元へ口を寄せ何か囁きますると、雅樂頭は膝を拍つて感心をいたし 雅『然程思は上策である、其方に申付ける故宜しく取計ひくれます樣 赤『畏り奉る』とお受けをして其儘我屋敷へ立戻りましたが、直樣河童の吉藏を呼出しました、吉藏は庭の掃除をして居る處へ急の御召を聞て庭先の緣端へ手を突いて居りまする、處へ赤岩佐渡守が立出て 赤『コレ吉藏、其處では叶んから此方へ上れ 吉『ヘエ殿樣恐入ります、何か御用でございますか 赤『此方の申付けることを決して背きはいたすまいな 吉『何の御用か存じませんが決して背きはいたしません、云ふまでもございませんが、二人の人を殺して首の無い處を繫いで下すつたのは殿樣の御恩、決して忘れはいたしません 赤『忘れんとならば予が申付けることを勤めてくれ 吉『命にかけてもいたしますが何でございます 赤『安宅丸の船底へ入つて伊豆へ行かう〳〵と申してくれ 吉『何でございます、安宅丸の船底と云へば水の中へ入るのでございますか 赤『如何にも水中に入つて篠竹の節を抜つて口に當て其の尖を水面に出し、伊豆へ行かう〳〵と云へば宜いのだ 吉『何だか妙なことでございますな、然しそれだけのことなら何んの雜作もございません、早速遣りませう 赤『他人目にかゝらん樣にして往の内に遣つてくれ、首尾能く行けば褒美の金は充分に遣はす 吉『ヘエ有難うございます、其の御褒美金は目的でございます

一 河童の吉藏は何が何やら其の次第は判りませんが、主人の申付けと思へば其の日の暮方になつて御竹藏の入江になつて居る處へ參りまして用意の篠竹を以て飛込んだが、忽ち泳ぎ渡て來た安宅丸の船底へ隱れ、彼の篠竹を口に當て、吉『伊豆へ行かう〳〵』と呼はりまするとと篠竹を通して其の聲は上へ聞ゑますが、扨此がどんな効を奏しますか

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院

一月廿三日 九星 舊十二月十一日 庚午 不命 四錄 佛滅

[illegible]

演藝案内

櫻井町 電話八七三 大正館

[illegible]

京城本町 電話一〇五〇 壽館

[illegible]

京城壽町 電話五七八番 壽座

[illegible]

電話二二六三七 二二六六 黃金館

[illegible]

明治町二丁目 電話二六〇 浪花館

[illegible]

有樂館

[illegible]

本町五丁目 稻荷座

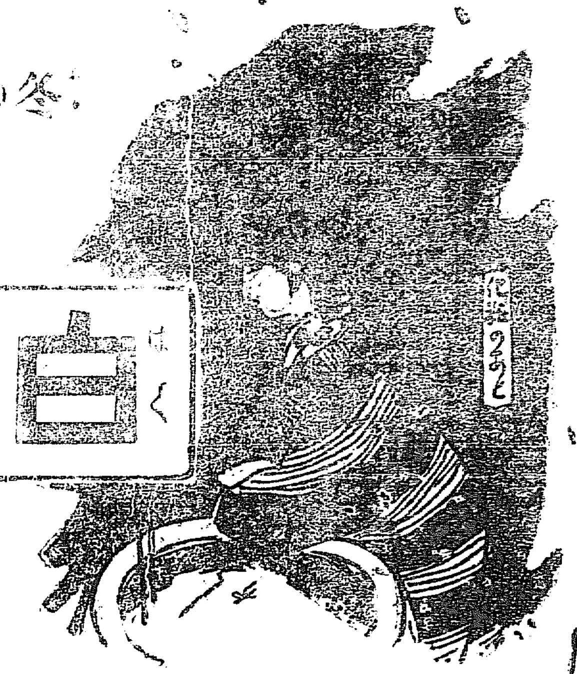
[illegible]

東京新海苔出盛
本年新海苔ハ稀有之豐作品質良好價格日々下落此際特ニ勉强可致何卒御用命奉願候小數御注文ハ小包御引替ニテ出荷可仕候御用之節ハ御名御注意
東京市京橋區南傳馬町貳丁目
入ヽ山形屋 渥田商店

周易 介石堂 明治町一丁目 岡村介石

汽車時刻
京釜線(南行) [illegible]
同(北行) [illegible]
湖南線(南行) [illegible]
同(北行) [illegible]
京義線(北行) [illegible]
同(南行) [illegible]
京仁線(仁川行) [illegible]
京元線(北行) [illegible]
同 [illegible]

冬の御家庭の必要品
尊き御方々 [illegible]
▷桃谷研究試驗所製◁
白色美顔水(はくしよくびがんすゐ)

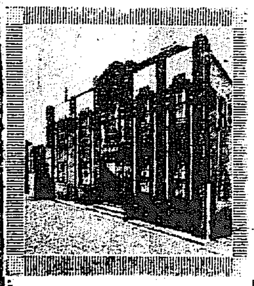


實用的でしかも優にやさしき
人氣彌々盛なる美容御化粧料

■冬はよく [illegible]

■冬はよく 白粉を附けると...肌がコツ〳〵荒れたりするのがあるものですが、然ういふ方は、白色美顔水でお化粧なさいますと、それこそ麼那御心配は少しもなく、皮膚は柔かにすべ〳〵して誠に氣持のよいお化粧が出來ますから不思議です。

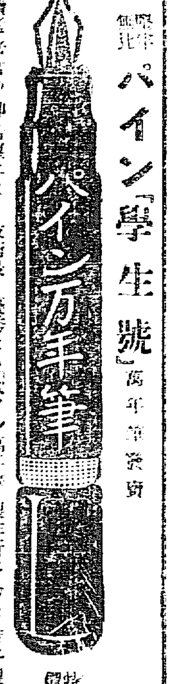
▲優にやさしく美しい御化粧ぶりは▼
兎角お化粧の爲にくい寒い時にも美しい殊に白色美顔水の特獨の特長としてますゝ人氣を集めて居ります



▲新築落成したる
桃谷研究試驗所
所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
同 醫學士 米倉昌達
同 千葉藥學士 小磯勝次郎
同 同藥學士 齋藤鉞
顧問 藥學博士 丹波敬三
同 醫學博士 山本淳二 氏

美顔化粧料發賣元
大阪 桃谷順天館 東京

京城日報社代理部特賣
パイン「學生號」萬年筆發賣

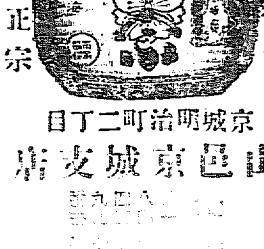


特價金八十錢也

讀者諸君の御希望により技術最も優秀なるパイン萬年筆製作所に命じ特に製作せしめたる此學生號はペンが小さいのと總ての粧飾を除き實用を專一にしたために斯く廉價なのであります
▲此學生號はパインの長軸と全く同一でありまして少しも遜色ありませぬ
▲同じ十四金ペン同じ最上のエボナイト軸にて此の耐久力高價の萬年筆に少しも劣らず [illegible]
發賣元 京城日報社代理部 京城大和町一丁目 振替京城三〇〇番

東洋一の魁 新形旅行靴
内田式ヘトロン靴は ... [illegible]
旅行用 靴と鞄

東京市芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄製造問屋 電話... [illegible]

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店

京城日報 第五版

二十二日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

亞細亞振興の機運（四）

內爭一轉の時

京城日報

支那民族にして、歐洲大戰、東亞の平和の時機を利用し、新立國の基礎を確立し、統一の業を成さむと欲せば、必ず先づ克己自制の精神を發揮して其の內爭を一轉し、南北一致の態度に出でざる可からず。南北一致して日支提携の實を擧げざる可からず。

支那に於ける南北の衝突、南北の抗爭は、歷史的關係あり、地理的の關係ありて、一概に之を難ずる可からざるや勿論なりと雖も、大亞細亞主義より之を觀れば、蝸牛角上の爭のみ。兄弟鬩牆の爭のみ。小兒の喧鬪のみ。恰かも一家內に於ける夫婦喧嘩に異ならず。彼の馮派なり段派なると、陸派たり孫派たるとを問はず、其の爭ふべきに爭ひ、其の鬩ぐべきに鬩ぐは、敢て咎むべきに非ずと雖も、內爭の爲に、支那復活、支那統一の大計を忘れ、亞細亞振興の機會を閑却し去るが如きは、吾人の決して與する能はざる所也。

若し今日をして歐洲大戰、世界動亂の大事變無からしめば、支那民族が南北黨を分ちて相爭ふも、日常茶飯の問題として看過し去るべしと雖も、今や然らず、中歐同盟國に敵する聯合國は、國家の存亡を賭して惡戰苦鬪しつゝある時たるを知らざる可からず。其の勝敗の結果如何に由りては、東邦諸國の安危休戚に關するものあるを知らざる可からず。又た其の勝敗如何に拘らず、一たび戰後に於ける東邦の將來に想到せば、支那が如何なる運命に遭遇すべき乎、吾人は慄然として肌粟を生ぜざらむとするも得ざる也。吾人が今日支那民族に對して、其の自覺を促さむとする所以のもの、全く此に在り。

吾人は支那民族に對して、敢て南北の政爭を中止せよと勸告するものにあらず。唯だ英國のロイド、ジョージが政黨に超越したる擧國一致の內閣を組織したるが如く、又た我が帝國が臨時外交調査會を組織して政爭を一轉せむとしたるが如く、支那民族が國家的に自覺して、大局を救濟せむことを勸告せざるを得ざる也。

若し支那民族にして、國家的に自覺する能はず、世界の大戰に參加しつゝ蝸牛角上の爭に耽溺し、歐洲大戰の終結を告げ、平和克復を見るが如きあらば、啻に參戰の任務を全うする能はざるのみならむや、支那復活、支那統一の機會は容易に再び來らざる也。亞細亞振興の機會も容易に再び來らざる也。故に吾人は支那の爲に、亞細亞の爲に、支那民族が今日の急は、日支提携の實を擧げ、一轉して、之を以て支那の根本的革新を圖り、之を以て參戰の任務を全うし、之を以て將來の內亂局の將來に應ずるに任ずるを切望するのみ。

遊支偶錄

（十三）信賴と安堵

蘇峰生

力は支那人の最も缺乏する所也。故に最も必要とする所也。力の顯示は、支那感化の第一義也。是れ必らずしも力を以て、支那人を威嚇し、倚伏せしむるの謂にあらず。唯だ支那人をして十分に信賴し、依賴し、安堵せしむるに足るを得ば、可ならんのみ。然も若し此の第一義を徹底せんと欲せば、吾人は所謂る御多分に漏れざる、烈強の仲間を以て滿足せず、いざと云ふ場合には、日本單獨の力を以て、支那の安危存亡の衝に膺らざる可らず。若し此丈の覺悟なきに於ては、力の顯示も、一種の空砲のみ。

兎角の議論は姑らく措き、最近の事實に就て之を檢せよ。朝に不平派を宣し、夕に北方派に助力するかと思へば、今日北方派に助力すると見れば、明日は又た南北一體を標榜す。如何に風の吹き廻しによればとて、如何に時の都合によればとて、其の仕打の不徹底なるは、何人も其の論議に先せずんばあらず。而して若し實際に力を應用したる事ありとせば、大隈內閣の時に於ける、當時の加藤外相が、所謂る希望條件を、遮二無二に押し通さんとしたるが如き場合に過ぎず。而して其の結果は、我に何等の獲る所なく、唯だ支那に於て、國恥紀念日を新製するの口實を與へ、排日の小史を編纂するの材料を、供給したるに止まる也。

支那人は寧ろ大主義者也。有力なる威勢に對しては、無抵抗者也。否な事大主義者也。此の威勢を利用するに於ては拔目なき實利者也。然るに我が力を以て、支那人を信賴せしめ、安堵せしむるに足らざる所以は何ぞや。吾人は力其物の不足による乎、將た決心の不足による乎、抑も亦た力を用ふる術の疎漏なるによる乎。且つ不徹底なるによる乎。

客年朝鮮貿易（三）

重要貿易品及國別貿易

▲大麥 三萬七千餘石十八萬四千餘圓の出荷にして三萬四千餘石十七萬三千餘圓の增進なり本年滿洲地方に於ける作柄稀有の凶作にて麯子原料等に缺乏を來たし延いて價格の奔騰を見鮮產の需要を喚起せしに因る

▲小麥 十六萬二千餘石百四十萬八千餘圓の出荷にして九萬四千餘石九十九萬餘圓を增加せり內地製粉界の活躍に際し米國產の輸入難より製粉原料として需要激增し加ふるに支那向に於ても鐵嶺製粉會社の大口需要ありし等相場の騰貴と相俟て出荷好況を呈したるに由る

▲鮮魚 輸移出額五百三十萬五千餘圓にして二百餘斤九十七萬九千餘斤三十萬四千餘圓の減少なり內地トロール漁業の增進と品薄の結果自然朝鮮產の需要を激增し一面銀價騰貴の關係より支那向出荷を促したるに由る

▲乾魚 一千二百三十二萬七千餘斤百五十五萬四千餘圓の出荷にして百七十二萬三千餘斤五十七萬餘圓を增進せり本品は乾鰮を主とし之に次ぐは乾鯖にして內地各地方に於て漁獲薄のため肥料騰貴したるに方り朝鮮沿岸の豐漁は相場高に相俟て出廻りを增加し就中乾鰮は支那向需要好況なりしに因るものなり

▲大豆 百八萬五千餘石九百三十七萬餘圓の出荷にして前年に比し十五萬三千餘石三百三十九萬九千餘圓の增進なり內地向に於ては滿洲產の輸入減少の關係上北鮮產に對する需要增加し支那向に於ても滿洲側に於ける大連定期相場の狂騰を起し一時稀有の出荷を見し等の[illegible]

▲其他の豆 二萬五千餘石六十四萬八千餘圓の出荷にして一萬四千餘石四十三萬二千餘圓の激增なり前年以來北鮮產を經由し歐米に輸出せらるゝもの激增し價格も亦騰貴したるに由る[illegible]

▲繭 輸移出額七百七十萬五千餘圓にして[illegible]

▲乾貝 二百八十二萬九千餘斤[illegible]

在鄉軍人會の發展策（六）

官民の努力を望む

總務部長 高橋綏次郎

▲地方官民に就て 內地では陸軍大臣及び內務大臣から地方長官に訓示を發して在鄉軍人會の設立の主旨を一般に徹底させ又郡長及町村長等を督して同會の發達に助力せしむることゝせしを以て同會主旨の徹底及び諸事の成果を見たることも少くないが朝鮮では未だ斯の如き訓示がない之れ在鄉軍人の數が少なく且つ時期に達しなかつた爲もあらうと思はれる併し之が成立の[illegible]

[illegible]

せうして

布施生譯 四十七

[illegible]

そして自分では暴風雨で家が倒れた時の用心のやうに心の中で言譯してみた。それからどの位風の音雨の音を聞きながら寢入つてしまつたか[illegible]

謎謎抄

（面白倶樂部）

酒の十害 [illegible]

二月號 日本少年

▲朝鮮虎狩の記 松山思水

▲少年八面鬼 巨熊を斃す 胡風生

少年小説 勇敢兵曹 佐藤紅綠

少年讀本 地圖の見方 [illegible]

雪の夜話 鯨と鳥賊 透視 歷史かるた 若草 山 弟の手紙 寺小屋

一冊 拾參錢 郵税一錢五厘

東京 實業之日本社

二月號 少女の友

常識問題の解答

朗讀 舌切雀

對話 [illegible]

少女小説 露の干ぬ間

冬の太陽 俳優募集

動物國 世界一周 南米の卷

植物國 世界一周 支那の卷

骨惜みする子と働く子

妹を守して勉强する子

一冊 拾參錢 郵税一錢

東京 實業之日本社

最新刊 [illegible]

新國書 [illegible]

凡てを優越せる 東洋信託株式の提供

▼其の特長を見よ

▼最も割安也

賣出株數 五百株

賣出單位 十株以上

賣出値段 一株に付金二十五圓

買受證據金 一株に付金十圓

受渡方法 著金次第

地方は郵便又は荷爲替にて送附す

大阪市東區北濱一丁目四番地

北濱ビルブローカー

發行所 京城日報社

[illegible]

獨墺小露秘密會議
トロツキー氏の抗議

獨墺側各委員は一月十六日經濟問題委員會に於ける獨逸委員の意見を承認し又獨墺委員は小露西亞委員と秘密會議を開き將來の政治的問題に就き協議を遂げ十七日より經濟問題を商議せるがトロツキー氏は小露西亞委員が國際問題に就き獨墺と協約を結びたるを聞き右は秘密談判を禁ぜる約束に反する行爲なりとて小露西亞革命中央執行委員會に抗議せり（ヘーグ特電）

引續き講和協商

ブレストリトウスクに於ける會議は十五日午前、午後の兩度に亙りて行はれ獨逸委員キユールマン氏露國委員トロツキー氏とは前回に引續き協議せり（ペトログラード特電）

擁護團過軍戰鬪

露國憲法會議擁護團と過激派軍隊との間に戰鬪起り十八日迄繼續せり（倫敦電報）

露部掠奪鎭靜す

露都に於ける掠奪は過去三日間に亙り繼續して行はれしが十四日既に終熄に歸せり當局は市內一切の酒店を破壞し兵卒は酒店販賣店七百餘箇所を閉鎖し其の貯藏品を押收せるが此の價額數百萬留に達せり（倫敦電報）

露廢后旅行要求拒絶

獨逸講和委員は獨帝の姻戚なる露國廢后及び他の皇族數名の旅行を許可せん事を要求せるが此の要求は絶對に拒絶されたるのみならず廢后及び皇族を直ちに裁判に附す可しとの決議を見るに至れり（倫敦電報）

墺太利暴動別報

既電の如く維也納を始め墺太利の諸都市に同盟罷工並に暴動起れるが原因は講和談判進行の遲々たると糧食官が集積に對して干渉を行ふ爲めなりと馬車既に閉鎖し食料店は掠奪を蒙れり（倫敦電報）

南北妥協案贊否

馮總統の特使王芝祥氏は去る十五日南京府に到着し陸榮廷氏と會見の結果中央政府に打電し陸榮廷氏をして廣東廣西湖南の事撫使たらしめば妥協の前途に望む所多しと述べ來りしが王總理は贊成せしも馮總統は不贊成の意を表せり（北京電報）

段特使李純協議

段芝貴氏の特使南京に來り李純と協議しつゝあり（上海特電）

雲南軍瀘州に大捷す

雲南軍は瀘州に於て大捷を博したり（北京電報）

段總長辭意あり

陸軍總長段芝貴氏は時局に對する馮總統の政策緩漫なるを不平として辭職の意ありと（北京電報）

西比利亞線運轉中止

二十一日より十日間西伯利亞線客車運轉中止となるべく急行列車も多分運轉を中止すべし（哈爾賓電報）

艦艇補充策
各交戰國の計畫

歐洲大戰の結果として英、米、佛、露、伊、獨、墺諸國の艦艇補充計畫に變更を來さんとするに至れり即ち戰前に於て各國が大正九年度乃至大正十九年度迄に補充することに決定し居りたる戰艦、巡洋戰艦、巡洋艦、驅逐艦、潜水艇數を示せば英國は百十一隻を、米國は四百十二隻を、佛國は二百四隻を、露國は三百十七隻を、獨國は二百四隻を、伊國は百十八隻を、墺國は六十四隻を製造すべき計畫なりき然るに大戰に依りて英國は百五十二隻、佛國は七十隻、露國は十九隻、伊國は二十隻、獨國は二百十九隻、墺國は五十隻を損失し加ふるに大戰の教訓に基き英國は已に既定計畫を越えて戰艦六十五隻を建造し獨逸も既定計畫より多くの潜水艇を建造せる外米國は大正[illegible]

南米航路增船
年六回定期實行

[illegible]三四回の發船をなし一面日本品の南米向け輸出の獎勵に[illegible]

▲南米向け輸出 [illegible]行貨物亦長足の發達を遂げ且南米[illegible]南阿より日本に輸入せらるゝ羊毛[illegible]其他の貨物も漸次增加する傾向[illegible]右の如き方針により日本を出帆せしめ[illegible]本年四月上旬若狹丸、同六月上旬讃岐丸、同八月上旬博多丸となれり

[illegible]植民地に寄せ伯剌西爾のサントスに航路を移民陸揚げの上りオデジヤネイロ亞爾然丁のヘノ[illegible]

南方派の通告
停戰命令に對し

既報の如く支那南方派は伍廷芳、唐紹儀、陳炯明、譚浩明、莫榮新、程璧光、岑春煊、李烈鈞、[illegible]等の連名を以て停戰命令に對する抗議を[illegible]

[illegible]

日支親善捷徑

此の程上海より來京せる元支那南方海軍司令部長王統一氏は語つて曰く

予は袁世凱時代に官職を抛ちて鑛山に從事し目下浙江省に於て鎢鑛及び銀の鑛山を有し之を經營し居れるが尚上海にて綿の栽培をなせり[illegible]

作物收穫高

大正六年度間島主要農作物作付反別及び收穫高を表示すれば如左

[illegible]

[illegible]間島に於ける水田の經營は朝鮮人の獨占事業に係り[illegible]

予は[illegible]學校を設置し同時に二三の同僚と有力なる新聞社を興さんと思ひ居れり（長崎）

農產物輸移出趨勢（上）
穀類及び加工品輸移出高四千餘萬
青木農務課長談

朝鮮に於ける農產物及び其加工品にして從來輸移出されつゝあるものは穀類及び其加工品、蠶繭產品、人蔘、煙草、棉花、蔬菜、畜產品等であるが、就中穀類及び其の加工品は何と云つても[illegible]

▲輸移出の大宗 であつて大正六年に於ける[illegible]大正六年には四千二十四萬[illegible]

▲適當の程度に [illegible]

▲比年特殊作物 [illegible]

▲平北地方から [illegible]

新運帶輸送

朝鮮鐵道と釜山澤山商會の契約に依り一月四日以降澤山商會の汽船に依りて運帶貨物を阪神地方より之を[illegible]

王世子御臨宴

李王世子殿下は二十一日午後三時龍山御殿に御歸還の上[illegible]

隊部長會議期

[illegible]

朝鮮現在艦船

[illegible]

貨車五十臺

滿鐵京城管理局龍山工場にては[illegible]

京城電氣總會

[illegible]

土木請負業組合

[illegible]

寶運丸船體檢査

[illegible]

警察事務講習會

[illegible]

野坂事務官東上

總督府事務官野坂直次氏は朝鮮殖產銀行令案及び地方金融組合令改正案に就き法制局其他に於て說明の爲め二十一日朝京城出發東上せり

新編植物圖說 坂庭清一郎先生 宣揚柔三郎先生 共著 金六圓

魔術的實驗物理法 理學士 三澤隆茂先生著 大阪屋號 博文堂

社員招聘 日本曹達株式會社

日鮮會話精通 西村眞太郎著 定價金壹圓參拾錢

京日案內

懷中時計 新荷著

生徒募集 京城中學校

內科 小兒科 山田病院 院主 山田萬作

發行所 京城日報社代理部

大工道具 小林萬錄

鑛物各種分析 田部分析所

恩給 山口屋

二連銃 獵犬

電話九八四番へ

イングレッシー商會

貴顯高官星の如く

總督三殿下御招待

―華かなりし官邸の午餐會―

長谷川總督は二十一日午後零時三十分總督官邸に於て李王、李王世子、李堈公三殿下を御招待申上げ午餐會を催ほされたるが

◎陪賓として は山縣政務總監、松川軍司令官、立花師團長、渡邊高等法院長、宇佐美内務部長官、永道長官、古海財務局長、持地遞信局長、關屋學務局長、小原農商工部長官、市川軍參謀長、李王職より閔長官、國分次官及び李王世子[illegible]

◎朝鮮貴族側 よりは[illegible]

◎綺羅星の如く [illegible]

王世子殿下 御巡覽

淑明女學校并に中央試驗所并總督府醫院

李王世子殿下には二十一日午後二時五分自動車にて壽松洞の淑明女學校へ成らせられたるが元來同校は殿下の御生母たる故嚴妃の創立せしものにて外に

◆嚴家一族の 設立せる孝子洞の私立進明女子高等普通學校及び北部の養正義塾（高等普通學校）あるを以て此の二校生徒も淑明女學校に參集することゝなり養正義塾男生徒二百餘名職員十三名は校長嚴柱益氏之を引率し進明女學校生徒百八十名職員十五名は校長嚴俊源氏に引率せられて淑明女學校長李貞淑男、淵澤學監、松本幹事以下職員十六名、生徒百九十餘名並に同窓會員數十名と共に淑明女學校々庭に參集し御著と同時に

◆一同最敬禮 をなし斯くて殿下は關屋學務局長の御案内にて同校別室に御休憩あり此處にて右三校の關係者に接見せられ京畿道より入澤一部長以下京城府より[illegible]

◆其流暢なる [illegible]淑明女學校生徒の唱歌、オルガン獨奏、國語講話等を御聽取相成り[illegible]きたりと斯くて殿下は午後二時四十分御發車中央試驗所へ向はれたり

◆光風の二字を御揮毫

李王世子殿下御一行は關屋學務局長の御先導にて午後三時十分中央試驗場に著せられ所長豐永博士御説明を申上げ同所製作品陳列場及び分析試驗室、染織試驗室、同試驗場、應用化學、窯業、製紙、食料品製造の

◆實況を一々 叮嚀に御視察ありしが元來同所は主として朝鮮産物を原料とし之を貴重なる日用品となすものにて就中朝鮮特産の明太魚より肝油を製出する實況を御覽ありし時の如き豐永博士は之を採り上げて『御覽遊ばせ、斯様に精製したるものとなります』と申上げて自身に一匙の藥を取りて嗅いで見乍ら『全く無臭とは參りませんが、鰯の脂ぐらゐな臭に成りました』と申上ぐれば、殿下は

◆興に乘ぜら れ[illegible]

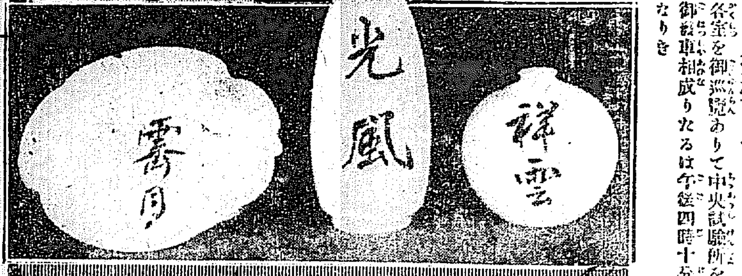
◆朝鮮の産品 [illegible]

◆筆を取らせ られ[illegible]も御美事に光風の二字を御揮毫[illegible]

◆揮毫したり 夫れより各室を御巡覽ありて中央試驗所を御發車相成りたるは午後四時十分なりき

◆各室を御巡覽[illegible]

◆醫業の状況 を聽取せられ[illegible]



▲王世子の高麗燒御染筆（中央試驗所にて）（光風殿下）（壽月閔長官）（祥雲）尹澤榮侯

◎坑夫百五十名 生埋め

二十日午前四時山形縣西田川郡大泉村古河鑛業會社經營大島鑛山は雪崩の爲め建物九棟全潰外二棟半潰し坑夫百五十名埋沒目下發掘中なるも大半は死亡せる見込なり（東京特電）

◇蹂躪され [illegible]

◇手切金と [illegible]

◎露國廢帝と結婚するクー女優 [illegible]

◎娼妓の指輪 [illegible]

◎公金二千三百圓 横領事件判決 懲役三年に處せらる

三重縣度會郡田尻町生れ京城旭町一丁目居住の加藤梅雄(四二)は元京城府廳雇員として財務係に勤務し公立普通學校生徒の授業料徴收の事務に從事中大正六年四月頃より同年十二月迄に前後數十回に市内齋洞外十二箇所の普通學校より徴集したる授業料金を保管中内金二千二百九十一圓餘を横領して[illegible]

◎阿片密賣 慶南居昌郡熊陽面老峴里李學容(三二)は同郡中某が阿片七百兩(價格三千二百餘圓)を賣却せんとするを聞き其の見本として六包を携へ京城市中を徘徊中此の程鍾路署の手に逮捕さる

◎栃木山 横綱決定 協會役員會の決議

二十一日上野精養軒に於ける角力協會役員會の決議は新番附編成會議にて協會役員推薦する事に決し同時に九州山千業崎を大關に昇進せしむる事に決したり（東京特電）

◎大阪 大錦を横綱か 正式に司家へ申請

大阪相撲協會にては大錦横綱問題は屢々持上り居たりしが先年東西合併相撲の際慣例を破りたる時も年寄連中より協會に對し横綱たるべく吉田司家に申請され先代なき旨朝日山生前に申出たるも種々の事情にて沙汰止みとなりしが今回吉田司家にて協會より申請あり次第横綱を允許すべく内定したる由協會よりも正式に司家へ申請する筈なれば多年の懸案たる同問題も近く解決する筈なり

▲十八場所大關 大錦は本名由川富三郎と云ひ尼崎[illegible]の産にて十八歳の時京都相撲に入り明治三十六年大阪なる朝日山の弟子となり四十年五月場所初めて三段目に突出され[illegible]の結果四十三年五月場所に大關となり今日迄十八場所大關としての地位を保めす本年三十[illegible]歳なり（大阪）

◎自轉車乘付注意 [illegible]

[illegible]『それはさうさ農事とは勝手が違ふからね』▲烏兎子が芙江の鑛山採掘に忙がしく近頃俳事に遠ざかつてゐる虎耳子を揶揄して一句『江の春や金掘る君に句のうとし』とやると▲傍に居た師軒子も縮いて『金に眼の眩むか句なき老の春』と一句、挾み打にあつた虎耳子默つては居られぬと『俳堂も金で建つ可し春の山』と酬いた▲俳堂さは虎耳子が平素計畫してゐる俳堂のことであるさうな

●正誤 夕刊第二面『大寒』の項中十行及び十一行目『氷點下四度五分』とあるは『氷點下十八度八分氏氷點下一度八』の誤植につき訂正す

大相撲懸賞發表

本社の東京大相撲春場所勝負豫想の懸賞者は頗る多く十三日正午の締切までに一萬二千[illegible]二十一通の多きに達したるが[illegible]

▲一等 [illegible]

▲二等 [illegible]

◎二箇月の間隔 [illegible]

◎新春の織物界 [illegible]

◎乘馬倶樂部創立 京城乘馬倶樂部にては二十日午前七時より[illegible]

◎中券番新年宴會 [illegible]

◎僞造證書で百圓 [illegible]

健康へ　衰弱より

レグモン

衰弱 したる人が健康の幸福に入るべき最も容易なる方法は滋養強壯劑レグモンを服用するにあり、レグモンは人體營養の第一要素たる蛋白質の多量と血液の濃度を增し細胞の抵抗力を強め心臟を強壯にすべきカルシウムの適量を含有するが故に病中病後の衰弱は勿論、平素營養不十分にて身體虛弱なる人はレグモンに依つて健康の幸福を得らるべし

全國知名藥舖に販賣す　説明書無代進呈

定價　一百瓦入 金壹圓貳拾錢　二百瓦入 金貳圓貳拾錢　四百五十瓦入 金四圓五十錢

一手販賣　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店

健康となる金科玉條は
美味と滋養
蜂印香竄葡萄酒を
毎食前飲用するにあり
さすれば血を增し肉を肥し
知らず識らず健康體となる

金二十圓　懸賞付

謹告

花王石鹸

原料騰貴の爲め本日より

金壹錢値上仕候

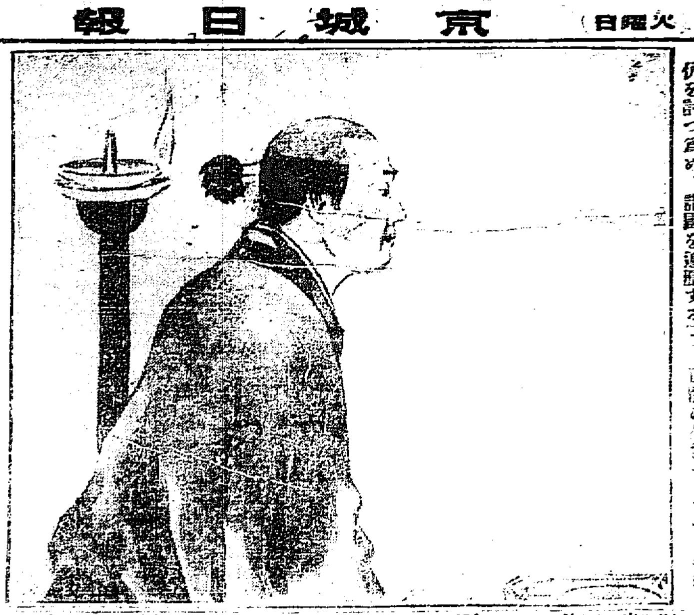
長瀬商會

中旬抽籤

第六拾七回

和田合名會社

[illegible]



櫻御殿

第百廿八回　大阪　霞の家主人

二人士（六）

助左衛門は何と云つて、この難關を切り拔けようかと思ひ惱む體であつたが、暫くして頭を擡げ
『貴殿を見込み、內密を申し上げる、拙者仕官を致しかぬる理は、何をか秘し申さう、武士の意氣地、仇を打たねばならぬ身でござる申すわ』
『何と仰せらる』
『その爲めに諸國を流浪、昨夜當所へ到着致した、その後は申すに及ばぬ、諸事御推量願み存ずる』
仇を討つ爲め、諸國を遍歷するのだと云つたら、武士の面目をしても、すぐ放して吳れるであらうと思つたが、案外にも民部はそこへ付け込んで
『さて／＼、勇しい御口上を承はる、左樣あつては尚更敬慕が深くなる、お役には立つまいが、手前も義理を命に御奉公申して居る、で、及ばずながら助太刀申さう、而て相手は何者ぢや、委細を打ち明けて語らせられへ』と云つた
助左衛門はいよ／＼當惑する
『さ、仰せられ、手前主人も聊か義理を辨へ居る、貴殿存慮を承はらば、何かと御助力申すであらう、相手は何者か存せぬが、秀頼公お手を持つて、草の根までを探りたまはど、今の間に知れ申す、御仕官は追ての事、手前性來義の爲めに命を捨てゝを光榮と心得居る、さ、仰せられ、平に仰せられ』
民部は面の色を變へて云つた、助左衛門は低とも云ひ難ね、もぢ／＼と身を縮めて
『その仇家は年弱の武士でござる』
『姓は何、名は何と申す』
『初瀨武右衛門、中國の浪人と聞いた、その上は御聞き下さるな、それ以上申し上げる譯はござらぬ』と苦しさうに頭を擡へた
『中國武士で初瀨武右衛門、その者當所へ入り込んだに相違ござらぬか、御主君に伺つては、町奉行へ申し達し、草を分けても探し出す、面體は如何やうなや、年齡は』
髪形位でござる』
『女にしても見まほしい姿』また
『二十二三でござらう』
助左衛門は腋の下に冷汗を流しながら答へた、民部は助左衛門の顏をつく／＼見て
『年齡は二十二三、女にしても見まほしい程の優男、それが貴殿の仇家と仰せか』
『御意ぢや』
『而て、乃僕の御趣意は』
『兄を打つて立ち退き申した』
『御無念のほど察し申す』と民部は飽くまで眞面目になつて『存ぜぬ上は兎も角も、斯樣に御懇意を結ぶ上は、聞き捨てに致されない、何卒助太刀をお許し下され、此の方からお願ひ申す』
助左衛門は否とも云へず、好い加減の返事をした
『而て、その武右衛門と申す者、當所へ入り込み申したかな』
『何うでござるか、その逃しかと分り難ぬるが、何さま當所近くまで索線がついてござる』
『諾し、さらば町奉行へ頼み、御城下を探させ申さう、今夜は緩々逗留めされ、何は無くともお宿だけは致し申す』

櫻島の龍蝦

◇熔岩の穴に棲くふ

この頃櫻島の漁民は熔岩から盛に龍蝦を捕つて居る、といふものは猛烈に突出したゴツゴツした熔岩の中にいせゑびの住に適した深い

◆暗い穴が 夥しく出來たのと熔岩をめぐる海水の溫かいのと海草や小魚類の豐富に繁生するなどすべて龍蝦の棲息する條件を具備してゐるから從來居なかつた處に夥しく發生したのである熔岩で捕獲される龍蝦は六十五匁から八十匁位の奴が多いのに依つて是はこゝに棲み始めてから三年位になるだらうといふ、唯不便なことは

◆熔岩の穴 は普通の岩穴と違つて鐵滓みたいな尖つた鋭い奴で出來穴の奥の方が左右に曲折して居るとか下に入つて居るとかの爲め潜つて銛で突いて捕るにしても網を張るにしても困難だといふ事であるその代り好い穴をみつければ一箇所で二千から三千も捕れる龍蝦は普通の蝦のやうに蝦に卵を有つが

◆外濱卵こ 云つて手脚に卵を有つ其手脚に有つた奴はよく繁殖するを計る爲に年捕にして販賣される、が十貫匁五圓の相場ださうである、鹿兒島邊では從來龍蝦は餘り產しなかつた處に今回櫻島についたといふので一層增殖を計る方針で繁殖獎勵といふ奴を百圓計上したが

◆郡參事會 では三十圓を增加した十四五圓の時三十圓では六十貫の外濱卵をもつ龍蝦が買はれる譯である之に就き時非常に殃襲せられた漁者から諸種の利益が得られるとは實際龍蝦は絆へる繩の如しと謂はねばならぬ最後に龍蝦の面白い習性を紹介しやう龍蝦は潮流のよく疏通する巖穴の中に

◆家族生活 を營むが少しでも暗く深い所を喜ぶので夕方だん／＼暗くなる時分穴の中から這出でゝその時分そろ／＼休まうとする小魚類を襲擊する恰も鼠見たいな奴で好き嫌ひに寄らぬ卑怯者であるけれども綺麗なので御祝ひの料理には乾燥なくてはならぬ代物にせらるゝとは滑稽みたいな奴で往々四尺以上の龍蝦を見ることがあるをうなが龍蝦もこうなると壯觀偉觀である（鹿兒島）

◉東京神民貿易語學校の設立　今次の大戰後に來るべき日本經濟的大發展に處する爲めには... 東京市神田區一ツ橋通町二十番地に東京植民貿易語學校を設立し新渡戶博士を校長とし南米語、支那語、南洋語、印度語、佛語、英語、露語等を教授し一方内外に於て植民貿易の事業に從事すべき人材を養成する爲め... 臨時入學の便を開く計畫ありと

◉東京工科學校々舍增築　東京神田錦町同校は二千名を收容すべき校舍なるが既に校舍の狹隘を來し現在二百餘坪の大增築中なるが三月新學期より大擴張を決行し目下諸機械の設備急ぎつゝある由因に同校は電氣、機械、建築、土木、冶金の各分科共新學期生募集中なり

酒幕吟社詠草（前號）

月落ちて殘光梅に動く哉
頭曾の店候潜む野梅かな
夕月に梅薰り來る二階哉
梅枝を輕く氣沛ぐ小鳥哉
紅梅に髪梳る女かな
梅枝に朝月白し驛り
牛牽きて戻る土橋や梅の月
梅が香に嗽ぐ齒の朝日哉
濯水を啜る梅見の戻り哉
杭稍の小島の來晴く耳哉
白梅の匂ひ動くや宅の闇
雪積む棧道を往く梅見哉
書院に春を助す音や梅薰る
梅薰る書齋の窓や燈の影
薇の中に野梅泛しく咲き點

新年雜詠

初雪に時つ城の天主かな
初雪や庫建ち並ぶ調屋町
初雪の庭にさや／＼投明哉
初雪や淡く刷きたる山家哉
初雪や夜十の衣に風落ちて
初雪の眺こよなき書齋哉
初雪を喜ぶ犬を小使かな
醉蕾に午後の陽が射す枕上哉
初雪に訪く去年の日誌哉

[illegible]

エプロンの女街筋を見下しても　浮碧樓
短い日がまきみゝ短目の泥下駄で夜が更たき氣心
頰目のれが膝を右のみまらに酒熟く
布團をやのへてたくてたらぬわが夜ぞ
布團のまはりそちこいてくらがるゝよ
鴨は鴨くさくわれら鴨鍋をはじむ
つきだちてわが布團をかゝへてみいつはいなり
布團とゝるざるにつかれた罪に後頭をみせ
裏の內手紙書いてきへ際がみゝる
裏の內よつぱど小柄で買物にでゝゆく
　　　　　　　――二十九――

〔野君田坊より〕

水仙の花からの便にみるその指先　披柳

氷 ―五日の十の日會―

水庫まで人のかなしい話あり　不考郎
氷張りゝこの河が越せない人々　浮碧樓
フラスコが氷ら怒かたらぬ一日　華虹
もてあそばれて氷れるにゆくや　岡岐良
一軒の吐き出した氷のたれ（前田正吉）　島堂

大阪株式侍電（二十一日前場・後場）
日本郵船　一三三、八〇
朝鮮　一七、六〇
鐘紡　三二、〇〇
東京株式　一八五、一〇
大阪株式　二四〇、〇〇

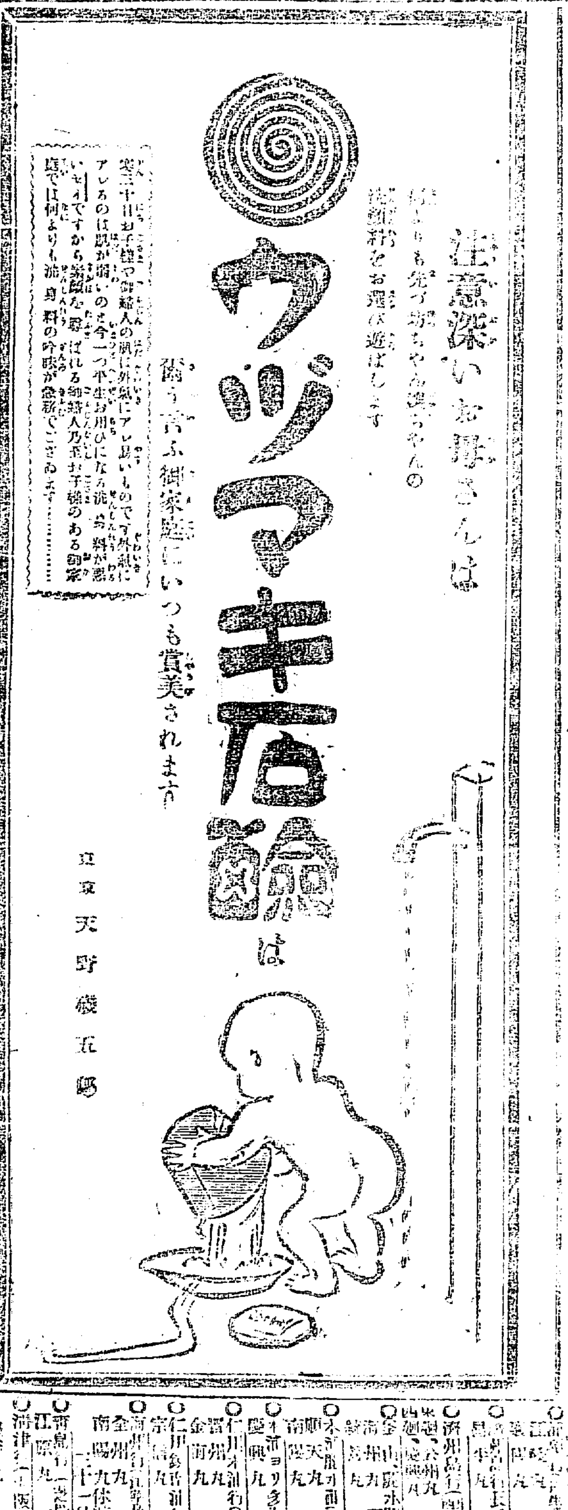
下關期米

大阪期米　二十一日後場
當限寄付　二十四圓七十一錢
中限寄付　二十四圓五十五錢
先限寄付　二十四圓六十五錢

上放れに寄付たるも買物多く〆台に迄り再び十台に乘せ二節十三錢より下間ひし折柄大阪寄商間邊の報に接し中限五十錢より六十錢あつて五十五錢先〆七錢と割込み…

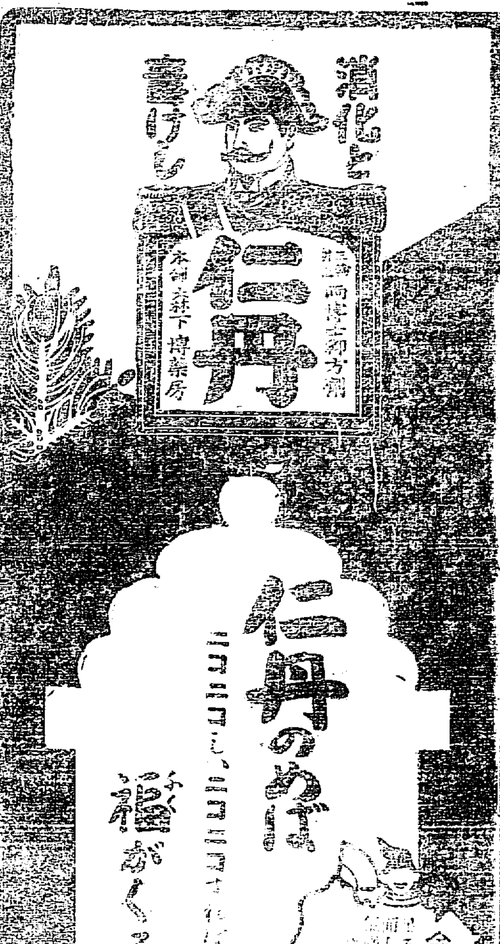
▲先限二十一圓平均値段五十三錢　一錢十錢〆九錢　八錢十錢〆八錢九錢十錢　一錢二錢　二節十

平壤 後場
寄付　二十一圓十五錢
止メ　二十一圓十五錢
高値　二十一圓十七錢
安値　二十一圓
出來　二千一百石



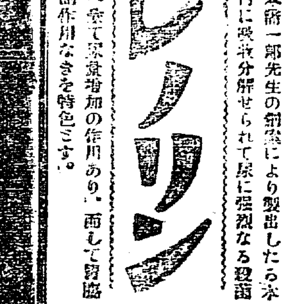
寒三十日お子樣や御婦人の肌に外氣にアレ易いものです外氣にアレるのは肌が弱いのです今一つ平生お用ひになる洗料が悪いせいですから立派な石鹸と呼ばれる御婦人乃至お子樣のある御家庭では何よりも洗身料の吟味が急務でございます

腦神經衰弱、頭痛、上逆、眩暈、腦充血、記憶力減退、不眠症、神經過敏等に陷り夜分惡夢に襲はるゝ人、睡眠不足、食慾不進



天下一品　白鶴　增本酒店　仁川本町三丁目　電話一〇九番
富の道しるべ

淋疾內用
ブレノリン
ドクトル松本爾一郎先生の創案により製出したる本品は體內に吸收分解せられて尿に强烈なる殺菌防腐性を與へ亦て尿量增加の作用あり、而して胃腸障害其他の副作用なきを特色とす。
急性慢性淋疾、膀胱、腎盂炎等に賞用せらる。
宇野博士、緒方博士、長與博士は本品に對する治驗報告を寄せられたり。文獻呈す。
錠劑及散劑の二種あり
一各地有名藥舖にあり
東京室町　三共株式會社



尼崎汽船仁川出帆
大吉丸　一月廿七日午後四時出帆
有明丸　二月二日午後四時出帆
代代丸　一月廿九日午後四時出帆
仁川港代理店　杉回漕部

釜山出帆廣告
和歌浦丸　一月　日午後五時出帆（門司、神戶、大阪行）
立神丸　一月　日午後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
立神丸　一月　日午後四時出帆
元山、淸津、雄基行
天昌丸　一月廿一日十四日午後十時出帆（佐須奈、鷄知、嚴原、博多行）
朝日丸　一月　日午後六時出帆
第三宇品丸　一月　日午後六時出帆（門司、神戶、大阪行）
大池回漕部

朝鮮共同汽船仁川出帆
共同丸　一月廿九日午後入港　一月廿六日午後二時出帆
朝鮮共同汽船株式會社
仁川代理店　野口商會
元山代理店　河村運送店
京城代理店

朝鮮郵船
元山より北鮮各地經由雄基行
○京畿丸　一月　日
×咸鏡丸　一月廿五日
第二咸鏡丸　一月　日
（釜山發）
元山より釜山經由門司行
○大阪行　一月十七日
○忠淸丸　一月廿一日
○成鏡丸　一月廿四日
（元山發）
濟州島行
○甘浦丸　毎月（釜山發）
○木浦より多島海各島行
○仁川より群山行
○鎭南浦行
○南浦丸　毎月（仁川發）
釜山代理店　木浦代理店　仁川代理店　元山代理店　松原運送店

日本郵船仁川出帆
和歌浦丸　一月廿一日
山東丸　一月廿一日
西砂丸　一月廿十日
仁川代理店　堀回漕部

京城自動車開始時刻
金泉支部